

## 《 人の健康維持に役立つ紅花加工食品の製造販売プロジェクト 》

市町村	酒田市	対象地域	酒田地域	分野	農林水産物の加工（園芸）
実施主体名	株式会社みどり農園	代表者氏名	中村 聡	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	酒田市松美町1番55号 電話 0234-34-3360
実施主体構成	事業従事者 2名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	53,000千円（48,000千円）					
	独自の目標項目	紅花の作付面積の拡大（現状3,500㎡→H26年20,000㎡）					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	5,000千円	25,000千円	30,000千円	36,000千円	44,000千円	53,000千円
	独自の 目標項目	作付面積の増 3,500㎡ →20,000㎡	10,000㎡	12,500㎡	15,000㎡	17,500㎡	20,000㎡
プロジェクト 概要	◎実施方針	紅花の食材としての素晴らしさを社会に広めて、食べる紅花の地域ブランド化を目指し、人の健康維持に役立つ紅花加工食品の製造販売の拡大を推進する。さらに、農薬をできるだけ使わない紅花の栽培方法を研究するとともに、連作障害の防止と単位面積当りの収益の向上を目的とした春取りネギの裏作を行って、紅花栽培の収益面での改善を図る。栽培は、遊佐町内の自社圃場のほかに、畑としての利用率が低い酒田市泥沢地区の開墾地でも実施して、耕作放棄地の有効利用に努める。					
	○産出額の増大	紅花の効能に関する研究と健康食材としての紅花の啓蒙を、㈱エルデック及び東北公益文科大学と共同で行い、加工食品の販売促進に繋げる。さらに、栽培から加工までの製造方法を見直して、高品質低価格な商品の提供を行う。裏作のネギ栽培を拡大して、収益を増やす。					
	○雇用の創出	平成26年雇用人数 200日×4人・日＝800人。 3年目以降は自社栽培のほかに委託栽培も行う予定。					
	○創意工夫	最小限の作業で効率よく花卉の収穫ができるように栽培方法を工夫する。最も人手がかかる花摘み作業では出来高制のアルバイトやボランティアの導入を図る。病気に強い健全な紅花を育てるため、関連会社の有機肥料を積極的に利用する。紅花の有効成分をできるだけ失活させない加工方法を確立する。収益の少ない紅花と収益の多い春取りネギの二毛作によって利益の向上を図る。					

	○実現性	紅花栽培は、 <b>21年度</b> で <b>2年目</b> をむかえ、栽培技術が大幅に向上した。また、昨年度は、収穫した紅花を健康食品（サプリメント）に加工した。機器設備の不足、品質の改善、販売網の構築など、まだ多くの課題が残されているものの、事業を始める環境は徐々に整いつつある。したがって、目標の実現性は高いと考えられる。
	○地域への波及効果	平成 <b>22年度</b> 、みどり農園は <b>10,000㎡</b> の畑で紅花を栽培する。これは県内の紅花作付面積（ <b>61,000㎡</b> ）の <b>16%</b> に相当する。これまで紅花は、県花でありながら、栽培地が内陸地域に限られていたため、庄内において縁の無い花だった。今後、庄内での栽培が盛んになり、食品としての紅花の素晴らしさが広まれば、生産者や加工業者だけでなく、花畑の美しさが人を呼び、観光分野への利益にも繋がると考えられる。
	○その他	

		実施年度（平成 <b>22</b> 年度）	実施年度（平成 <b>23</b> 年度）
	事業内容	① 紅花栽培 ② 紅花加工 ③ 製品販売 ④ 研究（栽培、加工、効能）	① 紅花栽培 ② 紅花加工 ③ 製品販売 ④ 研究（栽培、加工、効能）